

【答】自主財源の確保のため、個人市民税の特別徴収の徹底や、納税呼びかけセンターの運営時間の延長などに取り組み。また、

【問】考えるが市の考えは。

き続き調査研究していく。今後は、子どもの貧困対策推進法の見直しなど、

を傾け、しつかり意見を聴いていきたいと考えている。

年度に地質調査を、平成30年度から平成31年度にかけて提言書をもとに設計を、平成32年度から平成33年度にかけて建設工事を実施し、平成34年度に開館する予定としている。

【C・JOC・担当大臣・都知事の方々に面会、陳情したのか。】

財政運営の安定性を確保するため、福祉基金などの一部を事業の財源に活用したほか、公共施設マネジメント基金への積み立てを行うこととした。

【問】自分専用の携帯電話等を所持する小学生も増加傾向にあり、インターネット上の問題が生じる可能性が懸念される。今後、所持の状況を注視しつつ、状況に応じて検討する。

【問】学校給食費の無償化について、他市の導入状況はどうなっているか。

【問】投票に行かなかった有権者に市政へ関心を向けてもらうための考えは。

【問】市長は記者会見で「プロ野球のできる初雁球場を建設したい」とあるが、どんな内容か。

【問】担当を通じていくつか話をしているが、私がこの件で人に会ったり、動いたということはない。

【問】産前・産後サポート事業を効果的に周知すべく、妊娠届受理の際、全ての妊婦さんにパンフレットをお渡しすべきと考えるがいかがか。

【問】妊娠届出の際には、母子健康手帳と妊婦健診助成券及び各種のお知らせ一式を渡しているのので、併せてパンフレットを同封し、全ての方に周知していきたい。

【問】給食費を全額補助している自治体は、新聞報道によると全国で4市28町23村の計55市町村である。その他、部分的な補助として、多子世帯を対象としたものや金額の一部を補助している自治体もある。

【問】市政に関心を持って意見を出してもらえよう、地域会議等を通じて関心を呼び起こす働きかけや事業を行い、投票を棄権した方の意見もしっかり聴いていきたいと考えている。

【問】市長は記者会見で「プロ野球のできる初雁球場を建設したい」とあるが、どんな内容か。

【問】宮元町の旧保健所跡地の新設体育館については、周辺の交通量調査などを行ってきた。平成29年度は地質調査を実施する予定はないが、お金をかけずに調査等は行う考えである。

【問】本市の発展を支えるインフラ施設等の整備とともに、これらの老朽化対策にも積極的に取り組んでいきたい。このため、市債の活用と公共施設マネジメント基金等への積み立てを計画的に行い、

【問】全庁的な取り組みとして、子どもの貧困対策についてどのように対応する考えか。

【問】市長は市内の経済や社会状況について独自の見解を持っているか。

【問】災害時に消防活動の拠点となる消防局庁舎は老朽化や狭あい化などの問題を抱えており、庁舎の整備は重要な課題と認識している。整備に向けて川島町及び川越地区消防組合とも協議していききたいと考えている。

【問】市長はオリピック・ゴルフ場の問題で、10年以内に地質調査を実施する予定はないが、お金をかけずに調査等は行う考えである。

【問】現在、平成30年度の国の財政運営の都道府県化に向け、県と市町村とで協議を進めている。最終的には、県が策定する運営方針で法定外の繰入金や保険税率等の方向性が示される見込みである。

【問】現在の、ネットパトロールの対象は市立中高生に限られているが、今は小学生もインターネットに触れる時代である。今後ネットパトロールの対象を小学生まで広げるべき

【問】子どもの貧困対策に取り組むには、現状把握が重要であり、貧困調査の実施を検討している。また、計画策定は、策定手法など先進市の事例を引

【問】批判について真摯に耳

【問】実施計画では、平成30

【問】国保加入者の1世帯当たりの平均所得は5年前と比較するとどうか。

【問】国保財政の広域化の流れの中で、その他繰入金

【問】現在、ネットパトロールの対象は市立中高生に限られているが、今は小学生もインターネットに触れる時代である。今後ネットパトロールの対象を小学生まで広げるべき

【問】子どもの貧困対策に取り組むには、現状把握が重要であり、貧困調査の実施を検討している。また、計画策定は、策定手法など先進市の事例を引

【問】批判について真摯に耳

【問】実施計画では、平成30

【問】国保加入者の1世帯当たりの平均所得は5年前と比較するとどうか。

【問】国保財政の広域化の流れの中で、その他繰入金

議案第27号
平成29年度国民健康保険事業特別会計予算
 【日本共産党】